

活動一覧

国際家族計画連盟 (IPPF)
2015年の主要実績

1億7,530万件

のセクシュアル・リプロダクティブヘルス関連サービスを提供しました

480万件

の意図しない妊娠を防ぎました[†]

82件

の政策・法律をよりセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツを促進する内容に改正することに貢献しました

120万件

の安全でない人工妊娠中絶を防ぎました[†]

IPPFとは？

国際家族計画連盟 (IPPF) はグローバルにサービスを提供し、世界中のすべての人々のセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツを実現するためのサービスを提供し、政策提言活動を率いています。世界中に広がる運動であり、世界各国の組織が、現地のコミュニティや個人のために、彼らとともに活動しています。



160 の加盟協会とパートナー

何百万人

にも及ぶボランティア

86%

の加盟協会がカリキュラム文書を使用して若者に包括的な性教育を行っています。

80%

の活動資金が人間開発低・中位国で使われています。

3万3,000人

のスタッフ

85%

の加盟協会の理事会メンバーのうち、少なくとも一人は若者です。

71%

の加盟協会がジェンダー平等ポリシーを掲げています。

サービス提供実績^{*}

6,200万人

が IPPF の提供するサービスを受けました



82%

の利用者は貧困層や脆弱な人々です



青少年



貧しい人々



被災者・避難民



障がいを持つ人々



ジェンダーに基づく暴力をくぐりぬけた人々



HIVと共に生きる人々



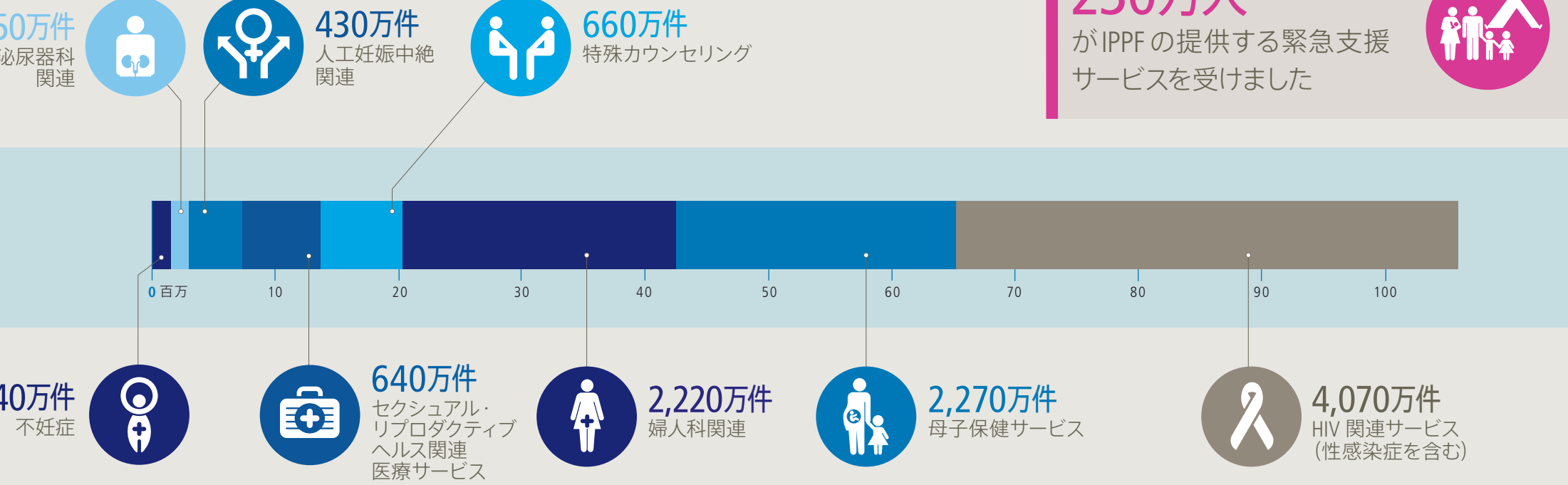
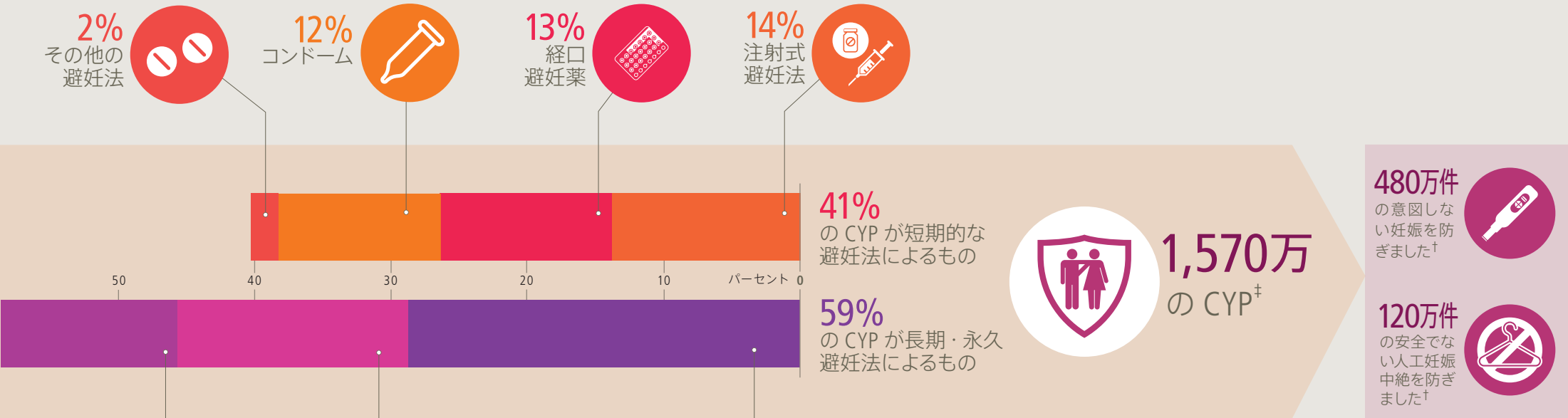
セックスワーカー



男性と性交する男性



性的に多様なグループ



^{*} 本書記載の人数、件数、パーセンテージなどの数値は四捨五入をしているため、たしあげても、合計値に合わなかったり、絶対値とは異なる場合があります。
[†] 意図しない妊娠と安全でない人工妊娠中絶の予防数は、マリー・ストープス・インターナショナルの「インパクト 2 モデル (バージョン 3)」を用いて算出しました。
[‡] CYP とは、カップルに対する避妊法の年間総供給量のことです。

地球規模の政策提言活動

2012 年より、IPPF は「持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」の最終調整に関する主なイベントのすべてに出席し、セクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツの重要性について伝え、「持続可能な開発目標 (SDGs)」に含めるよう政策提言を行ってきました。

政策提言のうちもっとも効果的だったものとして、**ジェンダーの平等と女性のエンパワメント、セクシュアル・リプロダクティブヘルス、そしてリプロダクティブライツ**を同アジェンダに盛り込んだことがあげられます。



健康とウェルビーイング (福祉) の充実 (ゴール 3)

ターゲット 3.1:
妊産婦死亡率を削減する

ターゲット 3.3:
エイズやその他の疾病の流行を終わらせる

ターゲット 3.7:
すべての人々が確実にセクシュアル・リプロダクティブヘルスサービスを受けられるようにする

ジェンダーの平等 (ゴール 5)

ターゲット 5.6:
すべての人々が確実にセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツにアクセスできるようにする

IPPF とその加盟協会の活動支援のための募金にご協力いただける場合は、IPPF のホームページ www.ippf.org からお願いします。または、IPPF 本部 (ロンドン、英国) までご連絡いただきますようお願いいたします。

2016 年 6 月 国際家族計画連盟 (IPPF) 発行

4 Newhams Row London SE1 3UZ United Kingdom	電話 +44 (0)20 7939 8200 ファックス +44 (0)20 7939 8300	ホームページ www.ippf.org 電子メール info@ippf.org
---	---	---

政策提言活動の 国別成功例2005–15年

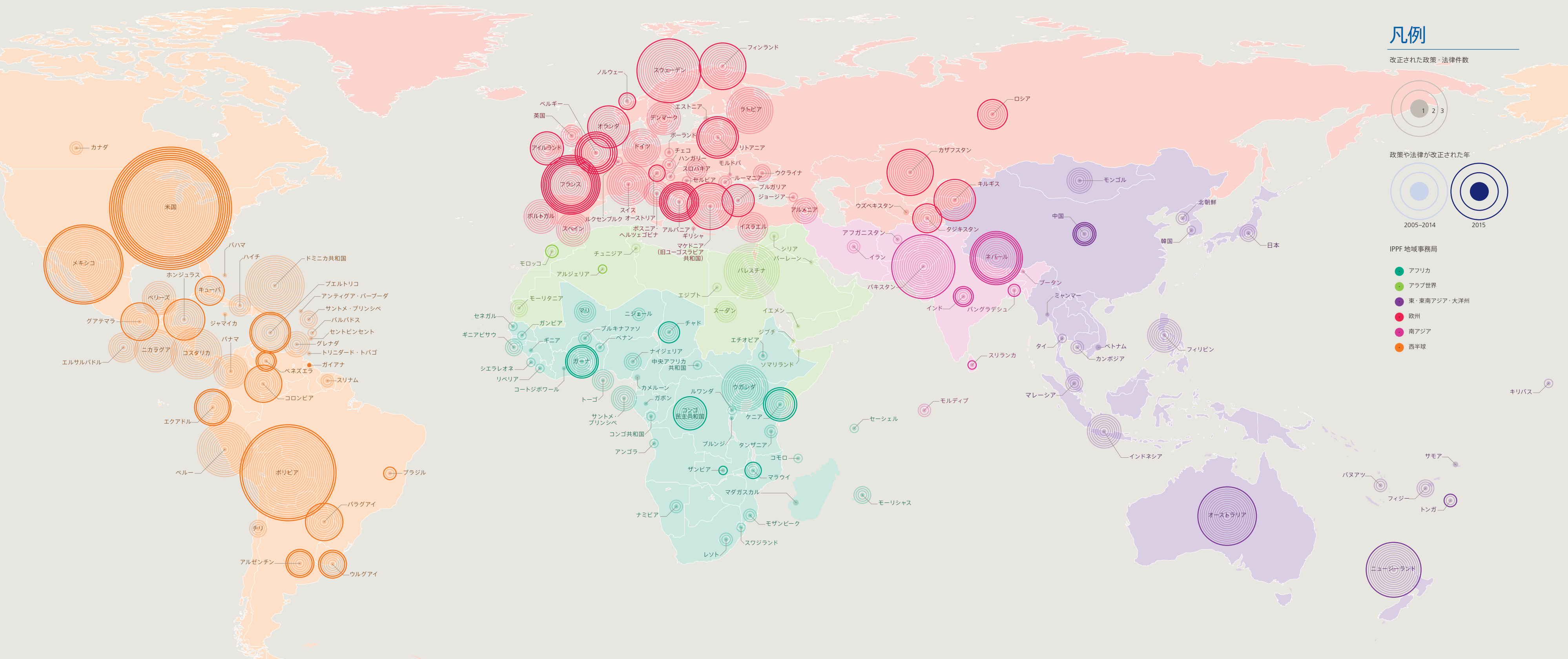
IPPF の政策提言活動によって、より多くの人々がサービスを受けられるようになり、セクシュアル・ライツとジェンダーの平等を促進し、社会からの偏見や差別を減らすことにつながる環境づくりをしています。IPPF の加盟協会は、法や政策が、よりセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツを促進するものとなるよう改正をはたらきかけ、同時にその後退や悪化につながる変更に対抗することで、世界の何百万人もの人々の生活に大きな違いをもたらしています。

2005年から2015 にかけて、IPPF の加盟協会とパートナーたちは

816件 の政策または法律の改正に貢献し、

151カ国

でセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツをサポートし、守りました。



IPPF グアテマラ (APROFAM)

グアテマラの新しい法律によって、最低婚姻年齢が 18 歳まで引き上げられました。それ以前の最低婚姻年齢は、女性 14 歳、男性 16 歳でした。IPPF グアテマラ (APROFAM)、国会議員と協力して一般の人々のこの問題への関心を高めたほか、政府関係者と面会し、早婚と強制婚がもたらすネガティブな影響について協議を重ねました。

IPPF アメリカ (PPFA)

IPPF アメリカ (PPFA) は、アメリカの女性が妊娠時に自分の意思で医療上の決定をする権利を守るために根気強く取り組んできました。これらの活動は、13 の州で人工妊娠中絶に関して、例えば超音波検査の義務付け、人工妊娠中絶前の待機期間の設定、施術施設の制限などの厳格な規制の導入を阻止することに貢献しました。

IPPF ガーナ (PPAG)

現代的避妊法を必要としている人と実際に受けている人の数の乖離に対応するために、ガーナ政府は避妊をより身近で手ごろな価格のものにすることを目的としたガーナ初の「コンドームと潤滑剤に関する国家戦略」を発表しました。IPPF ガーナ (PPAG) は、市民社会の代表としてそのコンサルテーションプロセスに参加し、戦略の策定に参加しました。

IPPF ザンビア (PPAZ)

IPPF ザンビア (PPAZ) は、「国家若者政策」の見直しに関する審議会に参加するよう、政府から要請されました。IPPF ザンビア (PPAZ) からの技術的助言は審議会になくってはならないものであり、その結果、思春期の若者らのセクシュアル・リプロダクティブヘルスと包括的な性教育が、改正された政策に含まれることになりました。

IPPF モロッコ (AMPF)

モロッコの大学生と職業訓練性は、国民健康保険によって、性感染症に関するサービスを含む保健医療サービスを無料で受けられるようになりました。IPPF モロッコ (AMPF) は、大学生がこれらのサービスが必要としていることを示す文書を作成し、国会議員らとの協議を通じて支援を取りつけたのです。

IPPF アルバニア (ACPD)

アルバニアの労働法の変更によって、性別、ジェンダー・アイデンティティ、性志向、HIV 感染や妊娠に基づく雇用差別が禁止されました。IPPF アルバニア (ACPD) は他の人権団体と協力し、国会議員らと会談し、国会公聴会に参加しました。

IPPF ロシア (RAPD)

個人病院での人工妊娠中絶を制限し、国民健康保険の適用から外すという法案がロシアで提出されました。IPPF ロシア (RAPD) は提案された修正法案のネガティブな影響についてメディアを通じて警鐘を鳴らし、政策立案者から法案に反対票を投じることにサポートを得ました。

IPPF バングラデシュ (FPAB)

バングラデシュでは、2015 年までミフェプリストンとミソプロストールを含む医療行為による月経調整法は政府系のクリニックでしか処置できませんでした。IPPF バングラデシュ (FPAB) とその他の組織は、より多くの女性がアクセスできるよう、非政府系の医療施設でもこれらのサービスが提供できるよう政策を変更するように政府を説得しました。

IPPF ネパール (FPAN)

IPPF ネパール (FPAN) とその他の市民社会組織は、国家女性委員会とともに 6 年間かけ、魔女として告発された女性への暴力を罰する法律の制定をはたらきかけました。その結果、国会で懲役刑や罰金によってそのような暴力を裁くことができる法が承認されました。

IPPF 中国 (CFPA)

IPPF 中国 (CFPA) は政府関係者と面会し、多くの出稼ぎ労働者のセクシュアル・リプロダクティブヘルス関連ニーズに取り組むという共同声明を発表しました。その結果、出稼ぎ労働者は、それまでのように政府施設だけではなく、非政府の医療機関でも避妊具（薬）を手に入れることができました。

政策提言活動の テーマ別成功例 2015

IPPF の加盟協会とパートナーたちは

82件 の政策または法律の改正に貢献し、

48カ国

でセクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツをサポートし、守りました。

22



安全で合法的な人工妊娠中絶へのアクセス

19



セクシュアル・リプロダクティブライツの推進

16



若者向けの教育とサービス

07



HIV と共に生きる人々への支援

07



避妊を含むセクシュアル・リプロダクティブヘルスへの国家予算配分

05



避妊具（薬）へのアクセス

04



児童婚、早婚、強制結婚の廃止

02



性とジェンダーに基づいた暴力の予防